

労働基準監督官

南都 由紀

令和4年4月 任官



労働基準監督官を志望した理由を教えてください

私は大学卒業後、民間企業に就職しました。勤めていた会社は、定年まで勤務される方が少なく、多くの方が途中退職されている状況でしたので、私自身も将来そうなるのかと不安に感じていました。

そんな時に、母親と仕事の話しをすることがあり、たまたま労働基準監督官の仕事を知り、人が生きていくために必要不可欠な「働く」ことに携われて、専門職として一生をかけて仕事ができる労働基準監督官の仕事に興味を持ちました。

当時、新型コロナウイルスの影響で社会的に不安定な情勢でしたので、正直転職することに対する不安がありました。しかし、一念発起して勤めていた会社を辞め、自分を追い込み試験勉強に専念して合格することができました。

労働基準監督官の仕事の魅力を教えてください

労働基準監督官の仕事は、労働者や事業主にとって、より良い労働環境を作ることができる仕事だと思います。「働く」ということは多くの「人」に関係し、労働基準監督官はそれを下支えする仕事であると考えます。

そういった意味でも社会的に意義があり、また時には世間の注目を集める仕事で、大変にやりがいのある仕事だと思います。

京都労働局を志望された理由は何ですか？

一つは京都労働局主催の業務説明会に参加したところ、職員の雰囲気がとても良かったことです。この点は、実際に働いてからも雰囲気良く、風通しの良い環境で仕事ができていると感じています。また、京都は伝統的な産業も数多く、労働基準監督官として様々な経験が出来ることも魅力でした。

私の出身は京都府外ですが、大学や民間企業に就職していた時の就労先が京都でしたので、身近に感じる地域だったことも京都労働局を志望した理由です。

仕事をしてみて感じたことを教えてください

私は大学で労働法を勉強していましたが、実務に落とし込むと、労働法の知識だけではなく相手に対する説明力であったり、コミュニケーション力がとても重要だと感じました。

反復・継続した経験を積むことで、様々な知識を身に付けることももちろん必要ですが、説明力やコミュニケーション力を同時に磨いていくことも意識し、日々の業務に取り組んでいます。

監督官を目指す方へのメッセージをお願いします！

労働基準監督官は専門職ですので、突き詰めた仕事ができる職種だと思います。労働者や事業主等、様々な立場の方と接することも多く、また様々な業界に関与するので、あらゆることに興味を持てる方に向いている仕事だと思います。

是非、京都労働局と一緒に仕事ができればと思います。